

チャイナ・フロンティアオープン

追加型投信／海外／株式／インデックス型

日経新聞掲載名：フロンテ

2020年9月1日から2021年4月23日まで

第20期 償還日：2021年4月23日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは中国の取引所上場株式等を主要投資対象とし、ベンチマーク(合成指数)の動きに連動した投資成果を目指して運用を行いました。当期についても、運用方針に沿った運用を行い、2021年4月23日に繰上償還となりました。皆さまのご愛顧ありがとうございました。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

償還価額(償還日)	31,334円90銭
純資産総額(償還日)	288百万円
騰落率(当期)	+9.8%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年9月1日から2021年4月23日まで)

基準価額等の推移



※ベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	28,547円
償還日	31,334円90銭
騰落率	+9.8%

※当ファンドのベンチマークは、MSCIチャイナインデックス(円ベース)70%、上海B株インデックス(円ベース)15%および深センB株インデックス(円ベース)15%の割合で組み合わせた合成指数です。

※ベンチマークを構成する各指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2020年9月1日から2021年4月23日まで)

当ファンドは、中国の取引所上場株式等を主要投資対象とし、ベンチマーク(合成指数)の動きに連動した投資成果を目指した運用を行いました。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行っていません。

*当ファンドのベンチマークは、MSCIチャイナインデックス(円ベース)70%、上海B株インデックス(円ベース)15%および深センB株インデックス(円ベース)15%の割合で組み合わせた合成指数です。

上昇要因

- 11月の米国大統領選で民主党のバイデン氏が勝利し、米国の対中政策が融和的になるとの見方が強まったことや、米国での大型経済対策の成立、春節期間の消費拡大への期待などから、2月中旬にかけて、香港株式市場、深センB株市場が上昇したこと
- 通期で米ドル高・円安、香港ドル高・円安が進んだこと

1万口当たりの費用明細 (2020年9月1日から2021年4月23日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	273円	0.921%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は29,688円です。
(投 信 会 社)	(126)	(0.425)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(126)	(0.425)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(21)	(0.071)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	77	0.258	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株 式)	(73)	(0.247)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(3)	(0.011)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	38	0.127	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株 式)	(37)	(0.126)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公 社 債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	274	0.923	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(273)	(0.921)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(-)	(-)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(1)	(0.003)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	662	2.229	

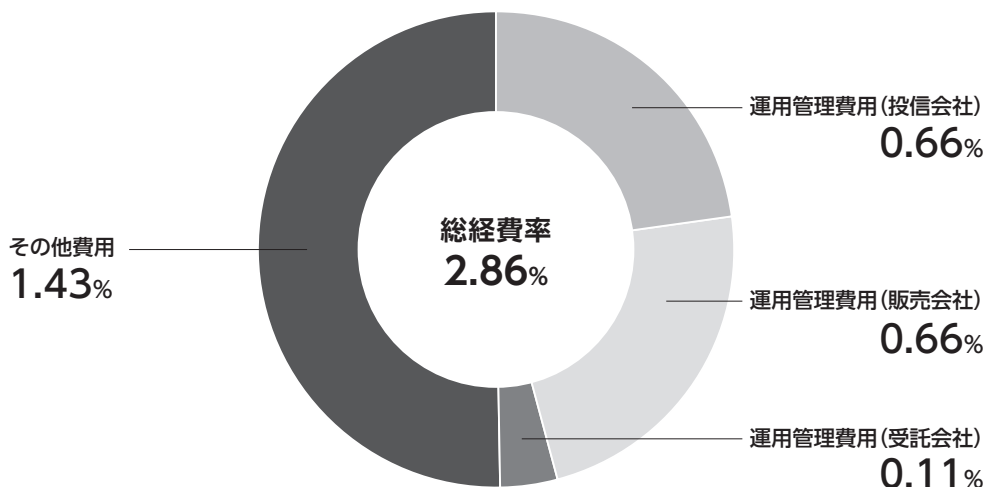
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

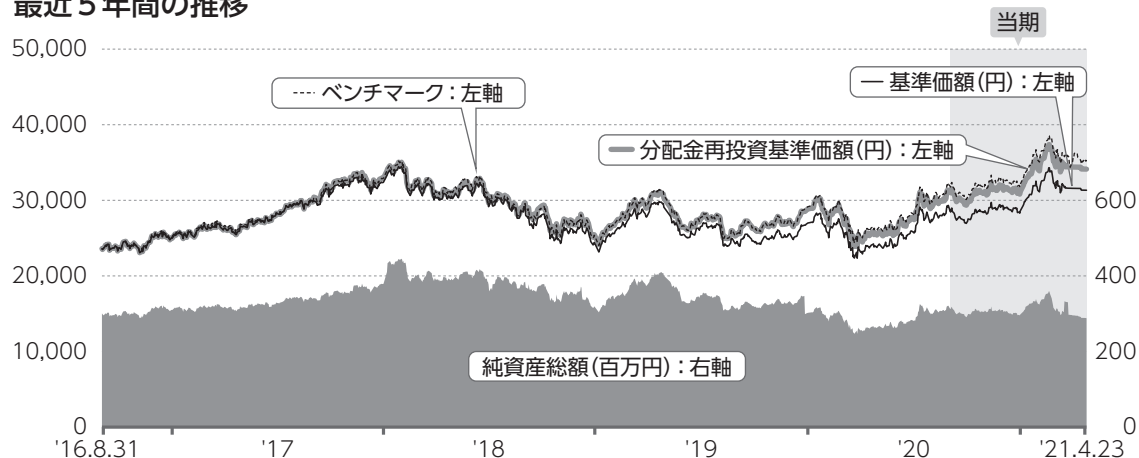
※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.86%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2016年8月31日から2021年4月23日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2016年8月31日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2016.8.31 決算日	2017.8.31 決算日	2018.8.31 決算日	2019.9.2 決算日	2020.8.31 決算日	2021.4.23 償還日
基準価額 (円)	23,604	29,919	28,005	23,982	28,547	31,334.90
期間分配金合計(税引前) (円)	—	506	692	616	544	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	28.9	-4.1	-12.2	21.3	9.8
ベンチマーク騰落率 (%)	—	28.8	-4.4	-11.6	24.1	10.9
純資産総額 (百万円)	300	340	369	309	312	288

※2021年4月23日の「分配金再投資基準価額騰落率」および「ベンチマーク騰落率」は、2020年8月31日からの騰落率で、年間騰落率とは異なります。

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

投資環境について(2020年9月1日から2021年4月23日まで)

当期の香港株式市場、中国本土B株(上海・深セン)市場は上昇しました。また、為替市場は米ドル高・円安、香港ドル高・円安となりました。

香港株式市場・中国本土B株市場

当期の香港株式市場、中国本土B株市場は、中国の経済活動正常化への期待や米中対立激化への警戒感などが交錯する中、期初からレンジ内で上下する動きとなりましたが、11月の米国大統領選で民主党のバイデン氏が勝利すると、米国の対中政策が融和的になるとの見方が強まり、香港株式市場、深センB株市場を中心に上昇しました。また、その後も米国での大型経済対策の成立や春節期間(2/11-2/17の連休)の消費拡大への期待が高まり、2月中旬にかけて上昇しました。一方、2月下旬以降は、米国長期金利の上昇を背景に投資家心理が悪化し、香港上場のインターネット関連など成長株を中心に、期末にかけて軟調となりました。

当期の市場の動きを香港上場の中国株を中心に構成されるMSCIチャイナインデックス(現地通貨建て)で見ると、期首に比べて7.0%上昇しました。また、上海B株イン

デックス(現地通貨建て)は0.4%の上昇、深センB株インデックス(現地通貨建て)は21.8%の上昇となりました。

為替市場

米ドル・円は、米国で新型コロナウイルスの感染再拡大に対する警戒感が高まる中、金融緩和の長期化観測などから、期初から2021年1月上旬まで米ドル安・円高基調となりました。その後は、米金利の上昇等を受けて米ドル高・円安が進み、通期では米ドル高・円安となりました。この期間、香港ドル・円も、概ね米ドル・円に沿った動きとなり、通期では香港ドル高・円安となりました。

当期の米ドル・円は、期首105円36銭から期末107円94銭と2円58銭の米ドル高・円安となりました。また、香港ドル・円は、期首13円60銭から期末13円91銭と0円31銭の香港ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて (2020年9月1日から2021年4月23日まで)

●組入銘柄

組入銘柄につきましては、A株以外のMSCIチャイナインデックス構成銘柄は、原則として構成比率が極めて小さい一部の銘柄等を除く全銘柄を組み入れました。一方、MSCIチャイナインデックスに採用されたA株については、採用A株群に連動する外国投資信託証券のほか、構成比率の高い上位15銘柄程度の組入れにより対応しました。

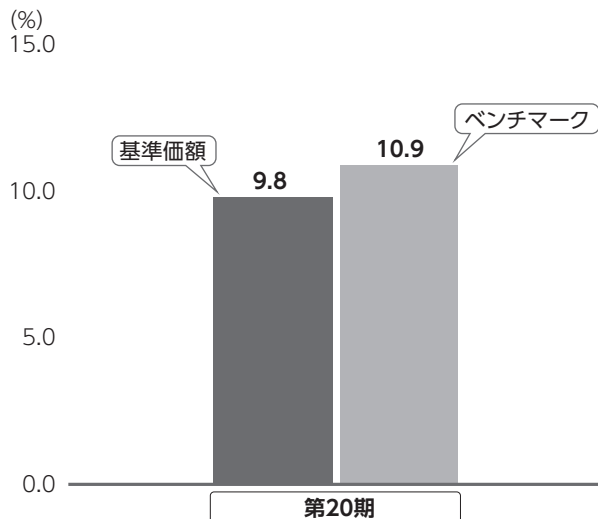
上海B株および深センB株については、信

用リスクを回避するため、原則としてST銘柄(2期連続赤字など、財務面で困難な状況に陥っている場合、毎日の騰落率に制限を設けるなどして取引所が特別な扱いをしている銘柄)等を除外して組み入れました。

なお、ファンドの償還が決定した3月17日には保有株(非上場証券2銘柄を除く)を全て売却し、4月23日のファンド償還日までキャッシュにて運用を行いました。

ベンチマークとの差異について (2020年9月1日から2021年4月23日まで)

基準価額とベンチマークの対比(騰落率)



当ファンドは、MSCIチャイナインデックス(円ベース)70%、上海B株インデックス(円ベース)15%および深センB株インデックス(円ベース)15%の割合で組み合わせた合成指数をベンチマークとしております。

左のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

ベンチマークとの差異の状況および要因

当期における基準価額の騰落率は+9.8%となり、ベンチマークの騰落率+10.9%を1.1%下方乖離しました。

下方乖離要因

- 一定比率の現金を保有したこと
- 売買コスト、信託報酬等

分配金について(2020年9月1日から2021年4月23日まで)

償還のため、該当事項はございません。

2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

繰上償還について

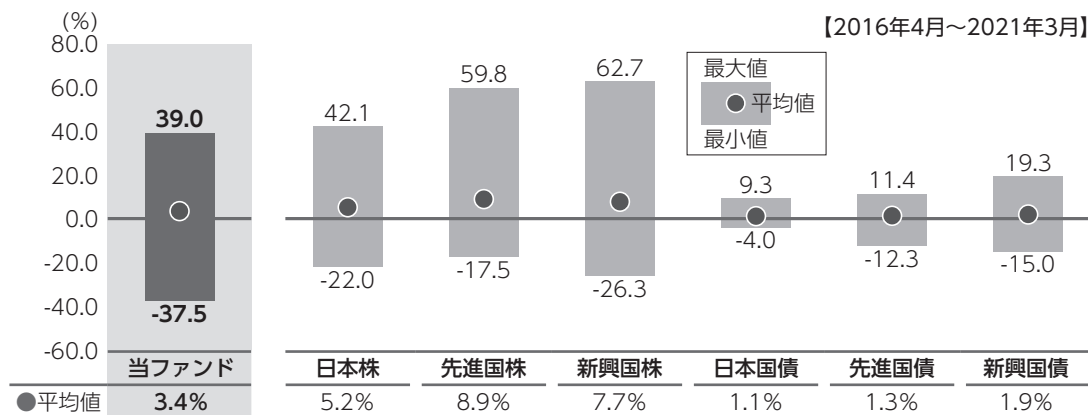
当ファンドは、信託約款の繰上償還規定の「受益権の口数が5億口を下回る」状態が継続していたことから、運用の基本方針に従った運用を続けることが困難となり、信託期間中ではありませんが運用を終了させ、お預かりした資産をお返しすることが受益者の皆さまにとって有利であると判断し、信託約款の規定に従い繰上償還の手続きを実施させていただきました。

法令および信託約款の規定に従い、2021年3月16日まで異議申立ての受付けを行い、異議申立てされた投資家の皆さまの受益権口数が、公告日(2021年2月10日)現在の受益権総口数の2分の1を超えなかったため、2021年4月23日をもって繰上償還となりました。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／インデックス型
信 託 期 間	2002年1月31日から2021年4月23日(当初、無期限)まで
運 用 方 針	中国の取引所上場株式等を主要投資対象とし、MSCIチャイナ指数70%、上海B株指数15%および深センB株指数15%の割合で合成された指数をベンチマーク(合成指数)として、合成指数の動きに連動した投資成果を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	中国の取引所上場株式等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■今後の成長と拡大が期待される中国株式に投資します。 ■合成指数の動きに連動した投資成果を目指します。 ■株式の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年8月31日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象収益の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ■分配金額は、配当等収益を中心に、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(配当込み) 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村證券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

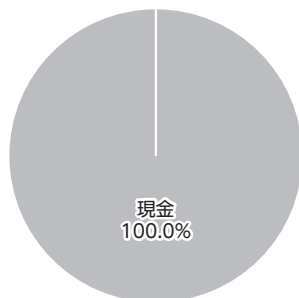
6 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2021年4月23日)

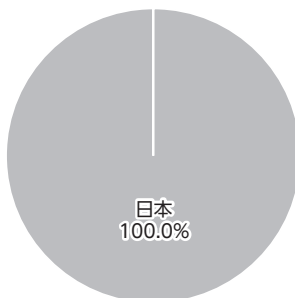
組入れファンド等

※償還日現在の組入れはありません。

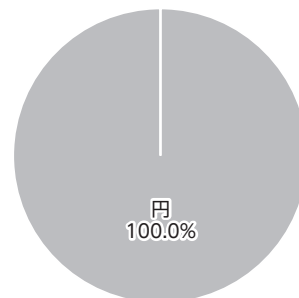
資産別配分 (純資産総額比)



国別配分 (ポートフォリオ比)



通貨別配分 (純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	償還日
純資産総額 (円)	288,044,850
受益権総口数 (口)	91,924,625
1万口当たり基準価額 (円)	31,334.90

※当期における、追加設定元本額は20,674,332円、解約元本額は38,362,253円です。

7 償還を迎えて

2002年1月31日に設定いたしました当ファンドは、2021年4月23日に償還となりました。皆さまのご愛顧につき、お礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜いますよう、お願い申し上げます。